

自主活動グループについてのアンケート調査

NPO認知症予防サポートセンターは、地域型認知症予防プログラムの普及啓発及び自主グループの支援を行ってまいりました。この度、「地域で続ける認知症予防—全国活動グループ交流会—」の実施にあわせ、他のグループの活動を知ること、活動継続のヒントとなるよう、アンケート調査を実施いたしました。

【目的】 地域型認知症予防プログラムに取り組み、主体的に活動を継続しているグループがどのように活動しているか、費用や人数、活動場所などの具体的な内容や方法、また継続するうえでの課題などについて調査した結果を報告する。

【期間】 平成23年11月10日～平成24年1月31日

【方法】 「全国活動グループ交流会」の資料請求時にアンケートを同封し郵送、もしくは認知症予防サポートセンターと関係のある自治体、事業所及び自主グループ組織に依頼し、各グループへアンケートを配布。ファックス及び郵送にて回収。

【対象】 認知症予防サポートセンターの関係自治体、事業所が地域型認知症予防プログラムに取り組み、その後自主化したグループを対象とした。

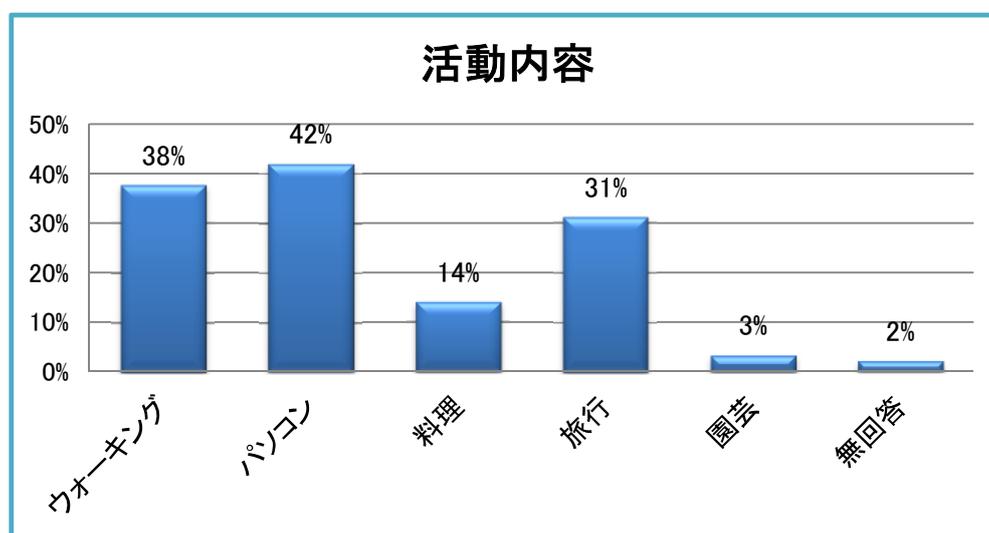
【回収率】 146グループのうち、93グループから回答が得られた。回収率63.7%。

I. グループの概要について

1. 活動内容(複数回答)

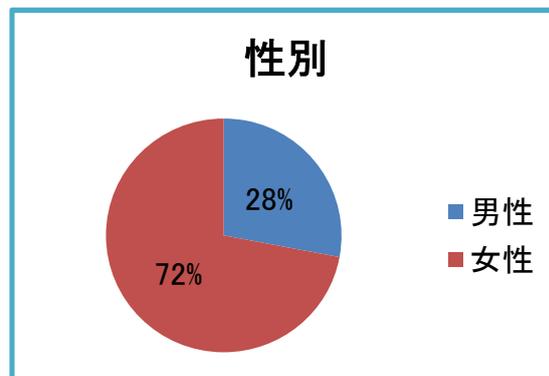
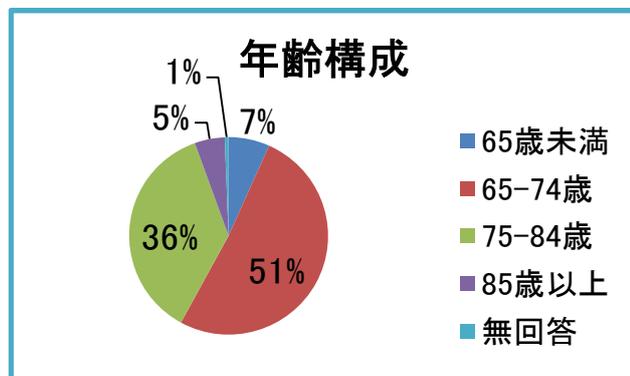
	ウォーキング	パソコン	料理	旅行	園芸	無回答	計
実数(件)	35	39	13	29	3	2	93
割合	38%	42%	14%	31%	3%	2%	100%

※ 93グループ中22グループが2つ以上の活動(ウォーキングとパソコンなど)の活動を行っていた。



2. メンバーの構成

65歳未満	年齢構成(人)				性別(人)		計
	65-74歳	75-84歳	85歳以上	無回答	男性	女性	
65	501	357	48	6	273	704	977
7%	51%	36%	5%	1%	28%	72%	100%

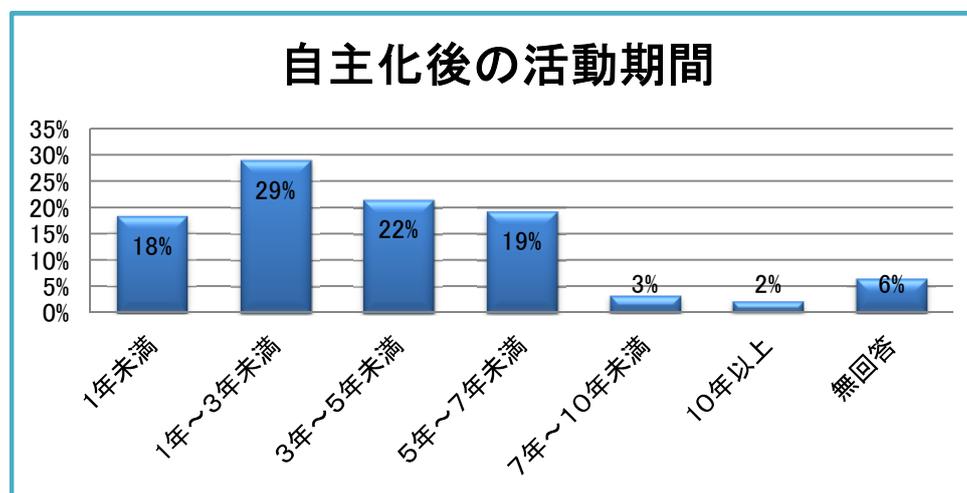


3. 活動場所 (複数回答)

	公的施設			それ以外			無回答	計
	区民センター・集会室等	高齢者・福祉センター	小学校・大学	ウォーキング旅行実施場所	アパートの集会室	喫茶店等		
実数(件)	47	26	4	12	3	2	4	93
割合	51%	28%	4%	13%	3%	2%	4%	100%

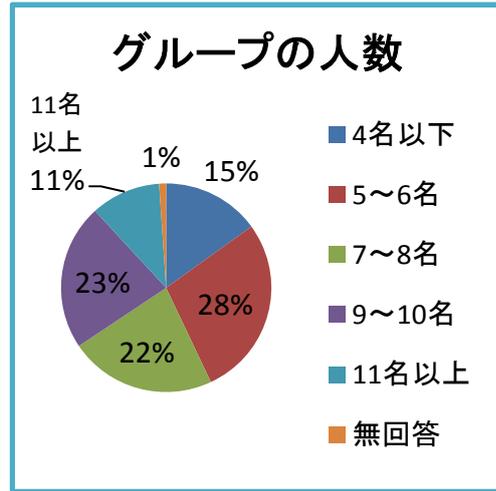
4. 自主化後の活動期間

期間	1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～7年未満	7年～10年未満	10年以上	無回答	計
実数(件)	17	27	20	18	3	2	6	93
割合	18%	29%	22%	19%	3%	2%	6%	100%



5. グループの人数

人数	実数(件)	割合
4名以下	14	15%
5～6名	26	28%
7～8名	21	22%
9～10名	21	23%
11名以上	10	11%
無回答	1	1%
計	93	100%



II. 活動費用や頻度について

1. 活動費用について

① 会費の回収の頻度

会費の回収	実数(件)	割合
1回毎、必要に応じて	11	12%
月会費	35	38%
年会費	18	19%
無回答	29	31%
計	93	100%

② 会費の負担

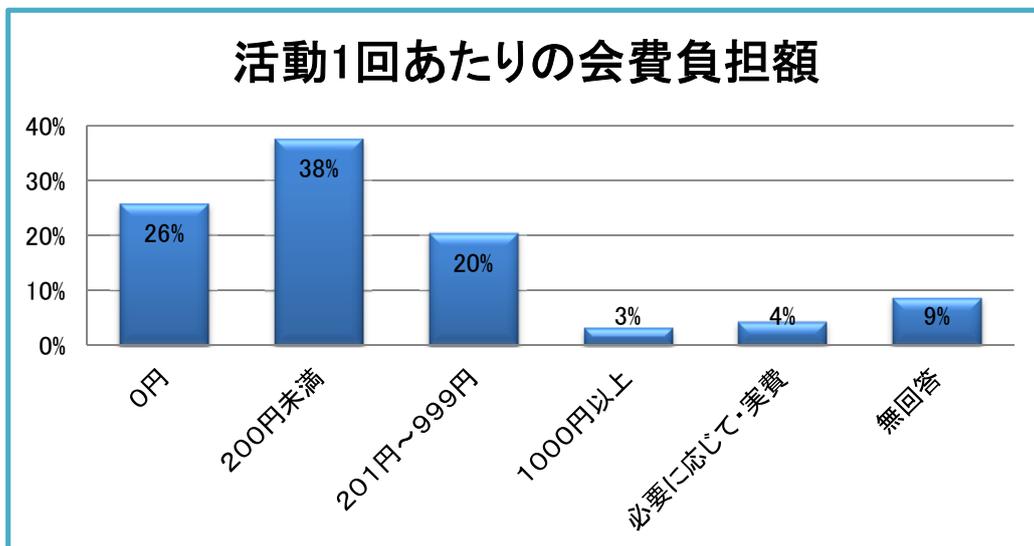
会費負担	実数(件)	割合
会費制	46	49%
会費と補助金	14	15%
補助金のみ	5	5%
無回答	28	30%
計	93	100%

※「補助金のみ」は全て世田谷区のグループで、社会福祉協議会からの補助金。

③ 活動1回あたりの会費負担額

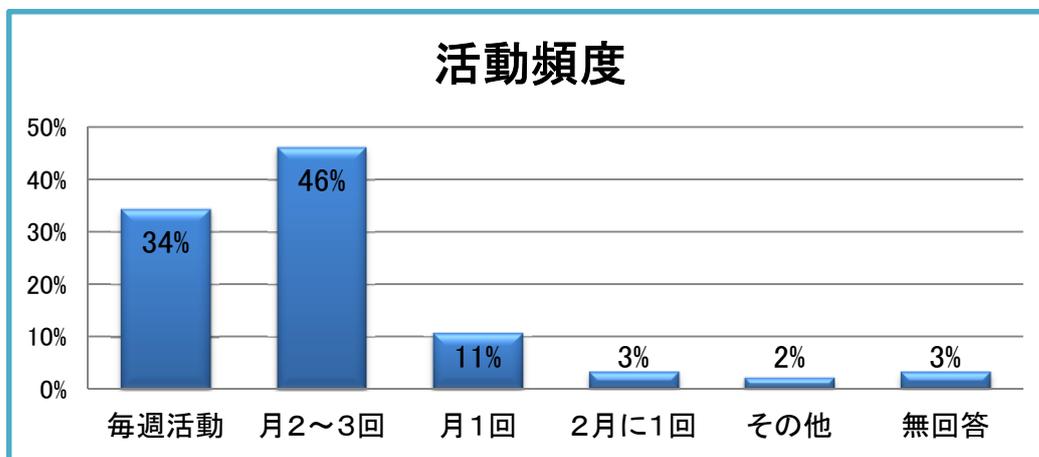
活動1回あたりの会費負担額	0円	200円未満	201円～999円	1000円以上	必要に応じて・実費	無回答	計
実数(件)	24	35	19	3	4	8	93
割合	26%	38%	20%	3%	4%	9%	100%

会費と活動日数から、1回あたりの会費を算出した。



2. 活動頻度

活動頻度	毎週活動	月2～3回	月1回	2月に1回	その他	無回答	計
実数(件)	32	43	10	3	2	3	93
割合	34%	46%	11%	3%	2%	3%	100%



Ⅲ. 他のグループとの情報交換について

1. 他のグループと

情報交換の機会がありますか

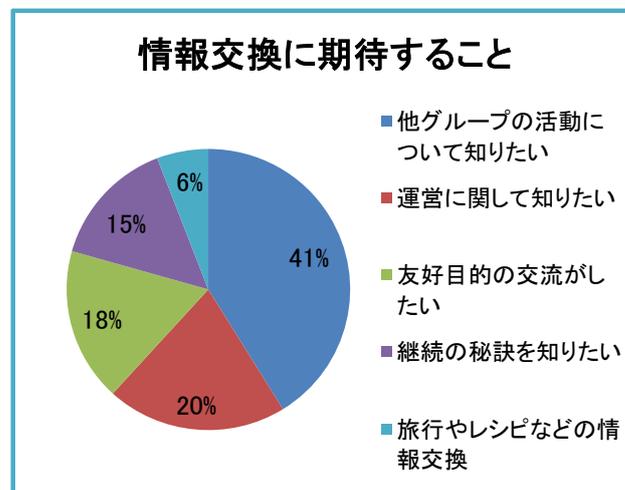
	実数(件)	割合
ある	47	51%
ない	44	47%
無回答	2	2%
計	93	100%

2. その機会は何? (複数回答)

「ある」と答えたグループの内訳	実数(件)	割合
交流組織主催	32	68%
同会場のグループ同士	11	23%
当該グループが中心に呼びかけ	9	19%
他グループからの呼びかけ	4	9%
その他	8	17%
計	47	100%

3. 情報交換に期待すること (無回答を除く)

情報交換に期待すること	実数(件)	割合
他グループの活動について知りたい	14	41%
運営に関して知りたい	7	20%
友好目的の交流がしたい	6	18%
継続の秘訣を知りたい	5	15%
旅行やレシピなどの情報交換	2	6%
計	34	100%



IV. グループ人数の確保

1. 活動人数を確保するために実施したことはありますか

	ある	ない	無回答	計
実数(件)	46	45	2	93
割合	49%	48%	2%	100%

2. 人数確保のために実施したこと (複数回答)

「ある」と答えた内訳	加入者勧誘	グループ合併	広報活動*	その他**	計
実数(件)	30	7	11	5	46
割合	65%	15%	24%	11%	100%

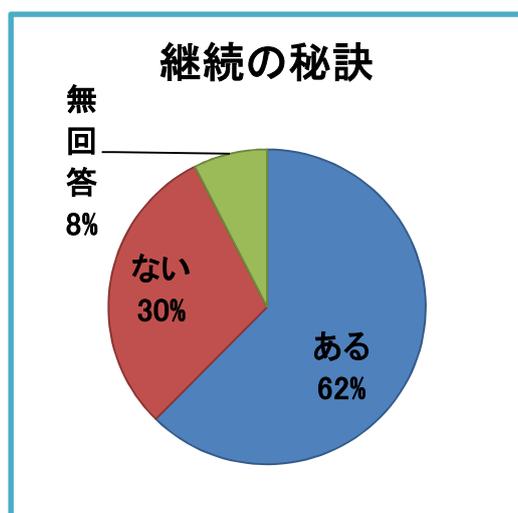
*広報活動には、「市報、町会誌、広報誌に掲載」「募集チラシを予防講演会や高齢者施設などに配布」「ミニコミ誌に募集広告を載せ配布」など。

**その他には、「パソコン養成講座や体験講座を開催」など。

V. 皆様のご意見から

	1. 継続の秘訣		2. 内容変更		3. 活動継続の苦労		4. 活動続けるうえで困っていること	
	実数(件)	割合	実数(件)	割合	実数(件)	割合	実数(件)	割合
ある	58	62%	58	62%	53	57%	21	23%
ない	28	30%	29	31%	35	38%	66	71%
無回答	7	8%	6	6%	5	5%	6	6%
計	93	100%	93	100%	93	100%	93	100%

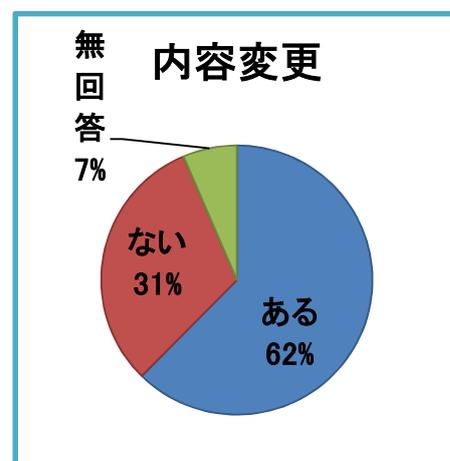
1. 活動を継続する秘訣はありますか



内容	回答数
楽しく活動、良い雰囲気、和気あいあい	21
みんなで話し合い決めている	16
無理なく続ける	7
相手を尊重する、他人を否定しない、秘密保持。	5
規則づくりや拘束をしない リーダーを決めない	4
ルールを決める、リーダーが必要	4

2. 活動しやすいようにプログラムの内容を変えていることはありますか

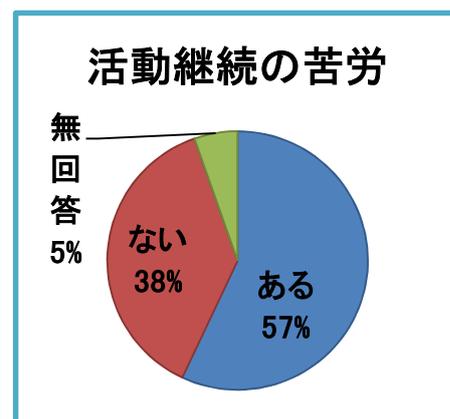
活動しやすいように内容を変えていること	回答数
プログラムにとらわれず、やりやすいように工夫している。旅行計画を簡素化、ウォーキングイベント中心にするなど	6
原則テキスト通りに実施。会員間で認知症予防の共通理解をしている。	4
食事会や茶話会、カラオケ、旅行、グランドゴルフなどを加え楽しく活動できる工夫をしている。	4
高齢化に伴い、ウォーキングや旅行プログラムに難しい面が出てきた。近場に行く、ウォーキングは各自で行うなど工夫をしている。	4



※ パソコンの技術向上や新しいことに取り組むグループもあるが、反面プログラムが高度になりすぎないよう気を付けているという意見もあった。多くがグループにあった無理のない活動をしているといった反面、活動回数が少なく、効果はどうかと不安の声もあった。

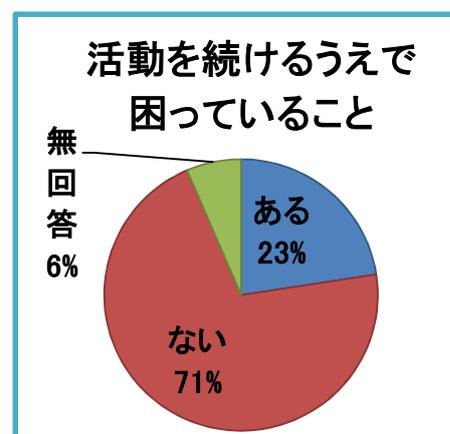
3. 参加者の高齢化など、活動継続の苦労はありますか

活動継続の苦労	回答数
高齢化でメンバーの体調不良や欠席、退会があり活動継続が難しい。	10
欠席者が多い、全員が集まるのが難しい。人数が少ないと活動に支障がある。	4



4. 活動場所の確保など、活動を続けるうえで困っていることがありますか

活動を続けるうえで困っていること	回答数
施設等で会場を確保出来るので特に困ってはいない、助かっている。恵まれている。	9
活動場所の確保が難しい	8
パソコンの環境が整った施設が必要、パソコンを教えてくれる人がほしい	3
会費で困っている。補助金があると助かるなど	3



これまで、NPO認知症予防サポートセンターでは、多くのグループの自主化に関わってまいりました。様々なグループ活動の様子を知ることで、これからも長く活動を続けるヒントとして頂ければと思います。このアンケート調査を、今後認知症予防サポートセンターの研修や学会等の学術研究・教育研究で使用させて頂く予定です。アンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。